Microsoft Excel(エクセル) VBA プログラミング実践の構成について

第1章 VBA の基礎

VBA の基礎的な用語や構文を習得します。

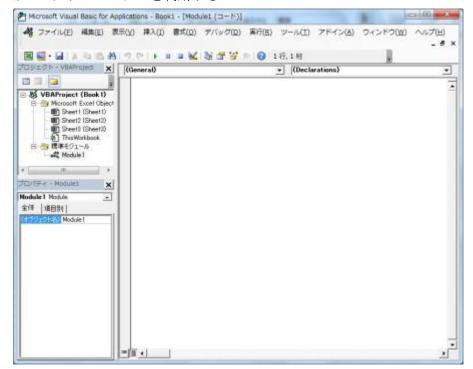
STEP1 VBA の基本用語を確認する

STEP2 変数と定数を利用する

STEP3 制御構造を利用する

STEP4 配列を利用する

STEP5 サブルーチンを利用する



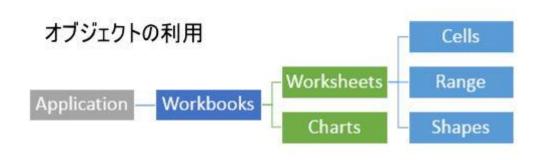
第2章 オブジェクトの利用

セルやシート、ブックなどのオブジェクトを利用する方法を習得します。

STEP1 セルを操作する

STEP2 ワークシートを操作する

STEP3 ブックを操作する



第3章 関数の利用

関数を使って、文字列や日付を処理する方法を習得します。

STEP1 関数の基本を確認する

STEP2 文字列操作関数を利用する

STEP3 日付関数を利用する

STEP4 その他の関数を利用する

STEP5 ワークシート関数を利用する

関数の利用

```
Sub 年月日取得() Day 製 数 Day 製 数 Day 製 数 Day 製 数 Dim Myrange As Range For Each Myrange In Range("C4:C23") Myrange.Offset(, 1).Value = Year(Myrange.Value) Myrange.Offset(, 2).Value = Month(Myrange.Value) Myrange.Offset(, 3).Value = Day(Myrange.Value) Next Myrange
```

Year関数

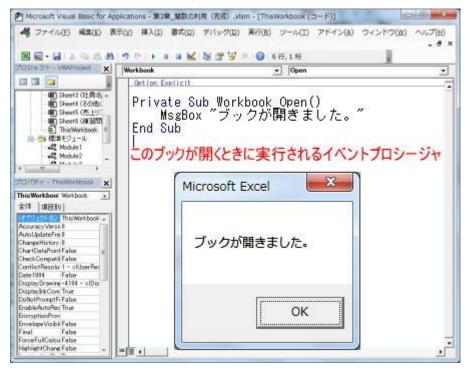
第4章 イベントの利用

シートやブックのイベントの利用方法について習得します。

STEP1 イベントの基本を確認する

STEP2 ワークシートのイベントを利用する

STEP3 ブックのイベントを利用する



ナレッジ・パソコンスクール

第5章 ユーザーフォームの利用

ユーザーフォームの作成や利用方法について習得します。

STEP1 ユーザーフォームの基本を確認する

STEP2 ユーザーフォームを追加する

STEP3 コントロールを追加する

STEP4 ユーザーフォームの外観を整える

STEP5 プロシージャを作成する



第6章 ファイルシステムオブジェクトの利用

ファイルシステムオブジェクトの概要や利用方法について習得します。

STEP1 ファイルシステムオブジェクトの基本を確認する

STEP2 FSO を使ってフォルダやファイルを操作する

STEP3 FSO を使ってテキストファイルを操作する

FileSystemObjectは、フォルダーやファイルを操作したりテキストファイルへの入出力したりするオブジェクトです。

```
Sub ドライブ数表示()
Dim MyFSO As New FileSystemObject
MsgBox MyFSO.Drives.Count
Set MyFSO = Nothing
End Sub

Sub フォルダー作成削除()
Dim MyFSO As New FileSystemObject
Dim Folderpath As String
Folderpath = ThisWorkbook.Path & "¥VBA"
If MyFSO.FolderExists(Folderpath) = True Then
MyFSO.DeleteFolder FolderSpec:=Folderpath
Else
MyFSO.CreateFolder Path:=Folderpath
End If
Set MyFSO = Nothing
End Sub
```

ナレッジ・パソコンスクール

第7章 エラー処理とデバッグ

エラーに対する処理やデバッグの方法について習得します。

STEP1 実行時エラーを処理する

STEP2 デバッグ機能を利用する

ウォッチウィンドウの確認変数などの値を確認できる



第8章 商品売上システムの作成

商品売上システムを作成しながら、アプリケーションを構築する方法を習得します。

STEP1 商品売上システムの概要を確認する

STEP2 マスタ登録処理を作成する

STEP3 売上データ入力処理を作成する

STEP4 請求書発行処理を作成する

STEP5 システムを仕上げる

